

# 彙報

by Hasna Jasimuddin Moudud (Dhaka, Bangladesh, Feb. 2004)

七頁

○口頭発表

「仏教徒のあり方と戒律」 高野山大学夏季生涯学習講座 高野山

二〇〇三年八月

○その他

「高野山の壇上伽藍とその意味」 和歌山県高等学校教育研究会国語部会編『会誌』第三二号 二〇〇四年三月 四九―五九頁

中村 本然

○著書

『真言密教における安心論』（高野山大学 二〇〇三年八月）二四八頁

○論文

「真言密教と曼荼羅」『梅堂思想と密教』 韓国・梅堂学会 二〇〇三年九月 三七九―四二〇頁

「禅林寺静遍の草木非情成仏説について」『日本仏教学会年報』第六八号 二〇〇三年一〇月 二八一―三〇四頁

○口頭発表

「曼荼羅の心」 高等教育機関コンソーシアム和歌山共同公開講座

二〇〇三年五月 和歌山県吉備町

「真言密教における安心論」 高野山大学夏季生涯学習講座 高野山 二〇〇三年八月

武内 孝善

○論文

「Bengal and Atisha」 In: Celebration of 1024th Birth Anniversary of the Venerable Buddhist Scholar Atish Dipankar Srijnan ed. (横組)

「チベット大蔵経所収の唯識部のテキストについて(1)」『高野山大学密教文化研究所紀要』第一七号 二〇〇四年二月 一―一二二頁

○論文

『仏教徒のあり方と戒律』（高野山大学 二〇〇三年八月）一二五頁

○著書

藤田 光寛

## 平成十五年度 研究所所員研究業績

定例の合同研究会（テーマ「弘法大師の思想とその展開」および「密教の形成と流伝」）は、生井所長のもと、藤田光寛・中村本然両専従所員、武内・奥山・前谷各所員、学外研究者として岩崎・森岡研究員の他、大塚伸夫氏（大正大学講師）とトーマス・ドライトライン氏（高野山大学講師）にも委託研究員として御参加いただいた。研究会の開催状況は前号彙報のとおり。

「空海の出自」『高野山大学大学院紀要』第七号 二〇〇三年十二月  
一―五四頁

「東寺観智院蔵『天台血脈』の研究(一)―本文篇―」『高野山大学論  
叢』第三十九号 二〇〇四年二月 一三―一八七頁

「寛信撰『類秘抄』の諸本と巻数をめぐって」『勧修寺論叢』創刊号  
勧修寺聖教文書調査団 二〇〇四年三月 五―二二頁

○口頭発表

「奈良時代における『大日経』の受容」 密教研究会 二〇〇三年六  
月 高野山大学

○その他

『高野大師行状図画(親王院十巻本) CD-ROM版』解説 小林写真工  
業 二〇〇三年五月 六六頁

奥山 直司

○著書

『評伝 河口慧海』 中央公論新社 二〇〇三年八月 四〇〇頁

○その他

「高山龍三編著『展望 河口慧海論』(書評)『学灯』Vol.100 No.9

二〇〇三年九月

「子山羊を抱いた少女」『日本ネパール協会会報』一七八 二〇〇三年  
五月

平成十五年度 寄贈図書及び交換寄贈雑誌目録

左掲の寄贈図書及び交換雑誌は平成十五年四月より平成十六年三月末  
までの間に登録したものです。御寄贈者の諸機関ならびに諸氏には厚く  
御礼申し上げます。当研究所の図書充実のため、今後とも一層の御協力  
と御支援をお願いいたします。

寄贈図書

○あしかび叢書3 〈だれにでもわかる伊勢の齋王〉梅田節子著

(神道国際学会 平成15年3月) 発行者殿

○天照教五十年史 (天照教 平成15年10月)

発行者殿

○天野の歴史と芸能〈丹生都比売神社と天野の名宝〉

和歌山県立博物館編(同博物館 平成15年10月) 甲田博史殿

○悔堂思想と密教〈Hoedang and Esoteric Buddhism〉

(平成15年9月) 中村本然殿

○還暦記念木本南邨作品集 永田明撮影(平成16年1月)

木本滋久殿

○堯栄文庫研究紀要 第4号 親王院堯栄文庫編

(親王院堯栄文庫 平成15年11月) 発行者殿

○空海と行く宇宙古道 橋詰弘編(大阪書籍 平成14年12月)

甲田博史殿

○空海と中国文化 岸田知子著(大修館書店 平成15年11月)

著者殿

○空海入唐〈虚しく往きて実ちて帰らん〉 飯島太千雄著

(日本経済新聞社 平成15年10月) 著者殿

○空海の「ことば」の世界 村上保壽著

(東方出版 平成15年9月) 高野山大学殿

○グローカル新書1〈「グローカル」マインドと「宇宙意識」〉

井上昭夫著 (天理大学出版部 平成15年4月)

天理大学おやさと研究所殿

○グローバル新書2 〈天理・比較宗教論への試み〉 小滝透著

(天理大学出版部 平成15年4月) 天理大学おやさと研究所殿

○グローバル新書3 〈「いのち」の流れ〉 塩澤千秋著

(天理大学出版部 平成15年8月) 天理大学おやさと研究所殿

○グローバル新書4 〈「元の理」の探求〉 荒川善廣著

(天理大学出版部 平成16年2月) 天理大学おやさと研究所殿

○熊野古道・小辺路今昔 橋詰弘写真、北尾清一文 (平成15年6月)

甲田博史殿

○皇室と伊勢神宮 神道国際学会編 (同学会 平成15年12月) 発行者殿

○弘法大師入唐一二〇〇年記念 空海と高野山 京都国立博物館、愛知

県立美術館、東京国立博物館、和歌山県立博物館編 (NHK大阪

放送局、NHKきんきメディアプラン 平成15年4月)

甲田博史殿

○高野山大学夏季生涯学習講座Ⅲ 高野山テキスト 〈真言密教における

安心論 資料編〉 中村本然著 (高野山大学 平成15年8月)

発行者殿

○高野山大学夏季生涯学習講座Ⅳ 高野山テキスト 〈仏教徒のあり方と

戒律〉 藤田光寛著 (高野山大学 平成15年8月) 発行者殿

○高野山大学論叢 第38巻 高野山大学編 (同大学 平成15年2月)

発行者殿

○高野山麓 天野の文化と民俗 No.5 日野西眞定、秋宗正男編

(天野歴史文化保存会 平成15年10月) 木下浩良殿

○修美 第22巻 〈通巻82、83、84巻〉

(修美社 平成15年4月、7月、10月) 発行者殿

○修美 第23巻 〈通巻85号〉 (修美社 平成16年1月) 発行者殿

○神道古典研究所紀要 第9号 神道古典研究所編

(神道大系編纂会 平成15年3月) 発行者殿

○神道の祭り 神道国際学会編 (同学会 平成15年11月) 発行者殿

○宿曜占法 本命宿早見表 上住節子編 (大蔵出版 平成11年11月)

編者殿

○宿曜占法 〈密教占星術〉 上住節子著 (大蔵出版 平成2年2月)

著者殿

○宿曜占法2 〈密教の星占い〉 上住節子著

(大蔵出版 平成11年10月) 著者殿

○宿曜と法華経 〈宿曜占法開運法〉 上住節子著

(大蔵出版 平成15年5月) 著者殿

○人文研ブックレット14 〈司書養成の諸問題〉 今まど子著

(中央大学人文科学研究所 平成15年12月) 発行者殿

○人文研ブックレット15 〈ヘルマン・ブロッホの『ユリシーズ』論〉

(中央大学人文科学研究所 平成16年2月) 発行者殿

○図説 蘇るバーミヤーン 樋口隆康著

(同朋舎メディアプラン 平成15年10月) 発行者殿

○戦後仏教系社会福祉事業の歴史と現状に関する統合研究 〈研究成果報

告書、資料編1、2 平成12〜14年度科学研究費補助金(基盤研

究(B)(1)〉 長谷川匡俊研究代表(淑徳大学長谷川研究所

平成15年6月) 淑徳学園長谷川文化研究所殿

○チベット語辞典 〈蔵日・日蔵〉 ケルサン・タウワ編

(カワチエン 平成15年11月) 甲田博史殿

- チベット仏教絵画の図像学のおよび様式的研究（平成13年度科学研究費補助金〔基盤研究（C）（2）〕研究成果報告書）  
森雅秀著（金沢大学 平成15年3月） 著者殿
- チベット密教 修行の設計図 斎藤保高著  
（春秋社 平成15年10月） 甲田博史殿
- 中央大学人文科学研究所研究叢書32（ハプスブルク帝国のピーターマヤー）中央大学人文科学研究所編  
（中央大学出版部 平成15年3月） 編者殿
- 中央大学人文科学研究所研究叢書33（芸術のイノヴェーション）中央大学人文科学研究所編  
（中央大学出版部 平成16年3月） 編者殿
- 伝道参考シリーズ13（逸話篇に学ぶ生き方）  
天理大学おやさと研究所編（同研究所 平成15年3月） 編者殿
- 天理教「教祖御誕生二〇〇年」記念国際シンポジウム<sup>98</sup>（女性と宗教）  
天理やまと文化会議編（同会議 平成15年3月）  
天理大学おやさと研究所殿
- 名古屋大学博物館報告書 第16号、17号、18号 名古屋大学博物館編  
（同博物館 平成13年3月、14年3月、15年12月）  
高野山大学図書館殿
- 日文研叢書28（近世艶本資料集成2） 菱川師宣・4） 早川聞多編  
（国際日本文化研究センター 平成15年3月） 発行者殿
- 日文研叢書28（近世艶本資料集成2） 鈴木春信・1） 早川聞多編  
（国際日本文化研究センター 平成15年3月） 発行者殿
- 日文研叢書29（森幸安の描いた地図） 辻垣晃一、森洋久編  
（国際日本文化研究センター 平成15年9月） 発行者殿
- 日文研叢書30-1（日本の政治経済とアジア諸国 上巻）  
松村岐夫、白石隆編  
（国際日本文化研究センター 平成15年10月） 発行者殿
- 日文研叢書30-2（日本の政治経済とアジア諸国 下巻）  
松村岐夫、恒川恵市編  
（国際日本文化研究センター 平成15年10月） 発行者殿
- 日文研叢書31（日本語系統論の現在）  
アレキサンダー・ポピン、長田俊樹編  
（国際日本文化研究センター 平成15年12月） 発行者殿
- 日文研叢書32（吉田東伍 前期論考・随筆選） 千田稔、渡辺史生編  
（国際日本文化研究センター 平成15年12月） 発行者殿
- 日本・インド国交樹立50周年記念（インド・マトゥラー彫刻展）  
東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション編  
（NHK、NHKプロモーション 平成14年10月） 甲田博史殿
- 日本・パキスタン国交樹立50周年記念（パキスタン・ガンダーラ彫刻展）東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション編  
（NHK、NHKプロモーション 平成14年10月） 甲田博史殿
- 日本の時代史10（南北朝の動乱） 村井章介編  
（吉川弘文館 平成15年3月） 海津一朗殿
- 抜萃のつづり63 熊平製作所編（同製作所 平成16年1月） 発行者殿
- 長谷川良信のブラジル開教 長谷川匡俊著  
（大蔵寺文化苑出版部 平成15年6月）  
淑徳学園長谷川仏教文化研究所殿
- 東アジア仏教研究 創刊号  
創価大学文学部菅野研究室内東アジア仏教研究会編

- 復元根源正本『選択本願念佛集』 (同研究会 平成15年5月) 発行者殿  
 西山短期大学内西山学会『選択集』研究委員会編  
 (西山浄土宗宗務所 平成10年11月) 西山学会殿
- 福神 第9号 (福神研究所 平成16年2月) 発行者殿  
 ○仏典入門事典 大藏経学術用語研究会編 (永田文昌堂 平成13年6月) 編者殿
- 傍訳 弘法大師空海 事相編1 大澤聖寛、北川真寛、佐々木大樹、佐藤正伸、土居夏樹編 (四季社 平成15年12月) 発行者殿  
 ○傍訳 弘法大師空海 事相編2 小峰彌彦、山本匠一郎著 (四季社 平成15年11月) 発行者殿
- 密教学会報 第41号 高野山大学密教学会編 (同学会 平成15年3月) 発行者殿
- 密教福祉〈相剋を越えて〉 密教福祉研究会編 (御法インターナショナル出版社 平成15年3月) 編者殿
- 密教文化 第209、210号 密教研究会編 (密教研究会 平成14年12月、15年3月) 発行者殿
- Dan Martin and Yasuhiko Nagano, ed. A Catalogue of the Bon Kanjur, Senri Ethnological Report 40. Osaka: National Museum of Ethnology, 2003. 発行者殿
- Emmanuel Faure, et al. Mahāvastu-avadāna Vol. 1, World Index and Reverse Word Index, Philologica Asiatica, Monograph Series 20. Tokyo: The Chuo Academic Research Institute, 2003. 発行者殿
- Hidehiro Sonoda. The Transfiguration of Miyako and The Emergence of Urbanity in Japan, Nichibunken Monograph Series No. 6. Kyoto: International Research Center for Japanese Studies, 2003. 発行者殿
- Hiroki Takakura, ed. Indigenous Ecological Practices and Cultural Traditions in Yakutia, Northeast Asian Study Series 6. Sendai: Center for Northeast Asian Studies Tohoku University, 2003. 発行者殿
- Indosan Nipponji Bodhi-Gaya. Buddhism and Bio-Ethics, The XXVI International Buddhist Conference. International Buddhist Conference, 2001. 発行者殿
- Institute of Buddhist Studies, ed. Pacific World, Journal of the Institute of Buddhist Studies; Third series No. 3. Berkeley: Institute of Buddhist Studies, 2002. 発行者殿
- International Association for Buddhist Thought & Culture. International Journal of Buddhist Thought & Culture, Vol. 2. Korea: International Association for Buddhist Thought & Culture, 2003. 発行者殿
- International Research Center for Japanese Studies. Nichibunken Japan Review No. 15. Kyoto: International Research Center for Japanese Studies, 2003. 発行者殿
- International Research Center for Japanese Studies. Nichibunken Japan Review No. 16. Kyoto: International Research Center for Japanese Studies, 2004. 発行者殿
- Samten G. Karmay and Yasuhiko Nagano, ed. A Survey of

- Bonpo Monasteries and Temples in Tibet and the Himalaya, Senri Ethnological Report 38. Osaka: National Museum of Ethnology, 2003. 発行者殿
- Celebration of One Thousand and Twenty Fourth Birth Anniversary of the Venerable Buddhist Scholar Atish Dipankar Srijnan. Bangladesh: Hasna Jasimuddin Moudud, 2004. 藤田光寛殿
- Kun rig nam par snang mžad kyi cho ga bsgrigs gsal nga gi 'dod 'jo 甲田博史殿
- 交換寄贈雑誌
- 1 愛知学院大学大学院文学研究科文研会紀要〈第15号〉  
愛知学院大学大学院文学研究科文研会編(同会・平成16年3月)
  - 2 愛知県立大学外国語学部紀要  
〈第35、36号 地域研究・国際学編、言語・文学編〉  
愛知県立大学外国語学部編(同大学・平成15年3月、16年3月)
  - 3 あふひ・AOI〈第8号〉  
京都産業大学日本文化研究所(同研究所・平成15年3月)
  - 4 アジア研究所紀要〈第29号〉  
亜細亜大学アジア研究所編(同研究所・平成15年3月)
  - 5 アジア文化研究〈29、別冊12(中世都市と宗教集団 交流空間の姿)〉  
国際基督教大学アジア文化研究所編(同研究所・平成15年3月)
  - 6 アジア文化研究所年報〈第38号(二〇〇三年度)〉  
東洋大学アジア文化研究所編(同研究所・平成16年2月)
  - 7 インド古典研究〈第8号〉
  - 8 叡山学院研究紀要〈第25号〉 叡山学院編(同学院・平成15年3月)
  - 9 大倉山論集〈第49輯〉  
大倉精神文化研究所編(同研究所・平成15年3月)
  - 10 大谷大学真宗総合研究所研究紀要〈第20号〉  
大谷大学真宗総合研究所編(同研究所・平成15年9月)
  - 11 かがみ〈第35、36号〉  
大東急記念文庫(同文庫・平成15年3月、6月)
  - 12 神田外語大学紀要〈第15号〉  
神田外語大学編(同大学・平成15年3月)
  - 13 紀州経済史文化史研究所紀要〈第23号〉  
和歌山大学紀州経済史文化史研究所(同研究所・平成15年3月)
  - 14 岐阜聖徳学園大学仏教文化研究所紀要〈第2号〉  
岐阜聖徳学園大学仏教文化研究所編(同研究所・平成15年3月)
  - 15 九州大谷研究紀要〈第30号〉  
九州大谷短期大学内九州大谷学会編(同学会・平成16年3月)
  - 16 教化学論集〈第3号〉  
日蓮宗現代宗教研究所編(日蓮宗宗務院・平成15年3月)
  - 17 京都産業大学日本文化研究所紀要〈第7、8合併号〉  
京都産業大学日本文化研究所編(同研究所・平成15年3月)
  - 18 京都女子大学宗教・文化研究所研究紀要〈第17号〉  
京都女子大学宗教・文化研究所編(同大学・平成16年3月)
  - 19 現代宗教研究〈第37号〉  
日蓮宗現代宗教研究所編(日蓮宗宗務院・平成15年3月)
  - 20 現代密教〈第16号〉  
智山伝法院(同院・平成15年3月)

- 21 国際シンポジウム〈第18集、聖なるものの形と場  
FIGURES AND PLACES OF THE SACRED〉  
国際日本文化研究センター編(同センター・平成15年3月)
- 22 国際シンポジウム〈第19集、The Logic of Female Succession:  
Rethinking Patriarchy and Patrilineality in Global and  
Historical Perspective〉英訳  
国際日本文化研究センター編(同センター・平成15年1月)
- 23 国際シンポジウム〈第21集、東アジアの都市形態と文明史〉  
千田稔編(国際日本文化研究センター・平成16年1月)
- 24 国際シンポジウム〈第22集、公家と武家〉  
笠谷和比古編(国際日本文化研究センター・平成16年1月)
- 25 国際日本文学研究集会会議録〈第26回(二〇〇二)〉  
国文学研究資料館編(同資料館・平成15年3月)
- 26 国際仏教学大学院大学研究紀要〈第6号〉  
国際仏教学大学院大学(同大学・平成15年3月)
- 27 国士館大学文学部人文学会紀要〈第36号〉  
国士館大学文学部人文学会編(同大学同学会・平成15年12月)
- 28 史境〈第46、47号〉  
歴史人類学会編(同学会・平成15年3月、9月)
- 29 種智院大学研究紀要〈第5号〉  
種智院大学基礎教育研究室編(同大学・平成16年3月)
- 30 城西大学国際文化研究所紀要〈第9号〉  
城西大学国際文化研究所編(同研究所・平成15年10月)
- 31 信愛紀要〈第44号〉  
和歌山信愛女子短期大学(同大学・平成16年3月)
- 32 神道書目叢刊  
〈6、林崎文庫・鹽竈神社村井古巖奉納奉納書目録 下二〉  
谷省吾、吉崎久編(皇学館大学神道研究所・平成12年3月)
- 33 神道資料叢刊〈9、鈴木重胤紀行文集〉谷省吾、加茂正典編  
(皇学館大学神道研究所・平成15年3月)
- 34 人文研紀要〈第47、48、49号〉  
中央大学人文科学研究所(同研究所・平成15年10月)
- 35 人文研究〈第54巻 第1、2、4、7分冊〉  
大阪市立大学大学院文学研究科(同研究科・平成15年3月)
- 36 西山学会年報〈第13号〉西山学会編(同学会・平成15年10月)
- 37 世界の日本研究〈二〇〇二、二〇〇三〉  
国際日本文化研究センター(同センター・平成15年3月、5月)
- 38 禅研究所紀要〈第31号〉  
愛知学院大学禅研究所(同大学同研究所・平成15年3月)
- 39 普通寺教学振興会紀要〈第8号〉  
普通寺教学振興会(同会・平成14年12月)
- 40 創価大学国際仏教学高等研究所年報〈第6号〉  
創価大学国際仏教学高等研究所編
- 41 地域と社会〈第6号〉  
(同大学同研究所・平成15年3月)
- 42 大阪商業大学比較地域研究所編(同研究所・平成15年8月)
- 43 筑紫女学園短期大学紀要〈第16号〉  
筑紫女学園大学編(同大学・平成16年1月)
- 44 筑紫女学園短期大学紀要〈第39号〉  
筑紫女学園短期大学編(同大学・平成16年1月)

- 44 智山教化センター年報〈第7号〉  
智山教化センター(同センター・平成15年6月)
- 45 中央学術研究所紀要〈第32号〉  
中央学術研究所編(同研究所・平成15年12月)
- 46 中央学術研究所紀要モノグラフ篇ZOL  
〈原始仏教聖典資料による釈尊伝の研究7〉  
森章司、岩井昌悟編(中央学術研究所・平成15年11月)
- 47 中央大学人文科学研究所年報〈第24号(二〇〇二)〉  
中央大学人文科学研究所(同研究所・平成15年3月)
- 48 鶴見大学仏教文化研究所紀要〈第8号〉  
鶴見大学(同大学・平成15年4月)
- 49 天台学报〈第44号〉  
天台学会編(同学会・平成14年11月)
- 50 天理大学おやさと研究所年報〈第9号(二〇〇二)〉  
天理大学おやさと研究所編(同研究所・平成15年3月)
- 51 東京成徳大学研究紀要〈第10号〉  
東京成徳大学編(同大学・平成15年3月)
- 52 東京大学史料編纂所研究紀要〈第12、13号〉  
東京大学史料編纂所編(同所・平成14年3月、平成15年3月)
- 53 東京大学史料編纂所報〈第37、38号〉  
東京大学史料編纂所編(同所・平成14年10月、15年10月)
- 54 東京立正女子短期大学紀要〈第31号〉  
東京立正女子短期大学編(同大学・平成15年3月)
- 55 東西学術研究所紀要〈第36輯〉  
関西大学東西学術研究所編(同研究所・平成15年3月)
- 56 東北アジアアラカルト〈第8号、日本とロシア〉
- 57 東北大学東北アジア研究センター編  
東北大学東北アジア研究センター編(同センター・平成15年3月)
- 58 東北アジア研究シリーズ〈第4号、東北アジア地域論の可能性〉  
岡洋樹、高倉浩樹編  
(東北大学東北アジア研究センター・平成14年12月)
- 59 東北アジア研究シリーズ〈第5号、東北アジアにおける民族と政治〉  
岡洋樹、高倉浩樹、上野稔弘編  
(東北大学東北アジア研究センター・平成15年11月)
- 60 東北アジア研究センター叢書  
〈第11号、古ツングース諸族墳墓の比較研究〉成澤勝編  
(東北大学東北アジア研究センター・平成15年3月)
- 61 東北アジア研究センター叢書〈第12号、シベリア抑留死亡者名簿〉  
A・Aキリチェンコ編  
(東北大学東北アジア研究センター・平成15年3月)
- 62 東北アジア研究センター叢書〈第8号、文化のディスプレイ〉  
瀬川昌久編(東北大学東北アジア研究センター・平成15年2月)
- 63 東北アジア研究センター叢書  
〈第9号、東北大学所蔵 豊後佐伯藩『以呂波文書目』の研究〉  
東北アジア研究センター編(同センター・平成15年3月)
- 64 東北アジア研究センター叢書  
〈第10号、『華夷訳語』(甲種本)モンゴル語全単語・語尾索引〉  
東北アジア研究センター編(同センター・平成15年3月)
- 65 東北アジア研究センター叢書



- 〈第13号、中央ユーラシアにおける民族文化と歴史像〉  
 東北アジア研究センター編（同センター・平成15年9月）
- 66 東北学院大学東北文化研究所紀要〈第35号〉  
 東北学院大学東北文化研究所編（同研究所・平成15年9月）
- 67 東北学院大学論叢〈第36、37号〉  
 東北学院大学学術研究会（同研究会・平成15年3月、16年3月）
- 68 東北福祉大学研究紀要〈第27巻〉  
 東北福祉大学編（同大学・平成15年3月）
- 69 東洋学論叢〈28（東洋大学文学部紀要 印度哲学科篇第56集）〉  
 東洋大学文学部印度哲学科編（同大学文学部・平成15年3月）
- 70 東洋学論叢〈29（東洋大学文学部紀要 印度哲学科篇第57集）〉  
 東洋大学文学部印度哲学科編（同大学文学部・平成16年3月）
- 71 東洋大学中国哲学文学科紀要〈第11号（東洋大学文学部紀要第56集）〉  
 東洋大学文学部中国哲学文学科編（同大同学部・平成15年3月）
- 72 東洋哲学研究所紀要〈第19号〉  
 東洋哲学研究所（同研究所・平成15年12月）
- 73 東洋の思想と宗教〈第20号〉  
 早稲田大学東洋哲学会編（同学会・平成15年3月）
- 74 同朋大学仏教文化研究所紀要〈第22号〉  
 同朋大学仏教文化研究所編（同研究所・平成15年3月）
- 75 同朋大学論叢〈第87号〉  
 同朋大学同朋学会（同学会・平成15年6月）
- 76 奈良大学紀要〈第32号〉  
 奈良大学編（同大学図書館・平成16年3月）
- 77 成田山仏教研究所紀要〈第26、27号〉
- 78 日文研〈29、30、31号〉 国際日本文化研究センター編  
 成田山仏教研究所（同研究所・平成15年2月、16年2月）
- 79 日本研究〈第27、28集〉 国際日本文化研究センター編  
 福井県立大学論集〈第22、23号〉  
 福井県立大学編（同大学・平成15年3月、16年1月）
- 80 仏教学報〈第39輯〉  
 東国大学校仏教文化研究院編（同大学・平成14年12月）
- 81 龍谷大学仏教学合同研究室内龍谷仏教学会編  
 龍谷大学仏教学合同研究室編
- 82 仏教研究〈第56、57号〉  
 国際仏教徒協会編（同会・平成15年3月）
- 83 仏教研究〈第31号〉  
 仏教大学総合研究所紀要〈第10号〉  
 仏教大学総合研究所編（同研究所・平成15年3月）
- 84 仏教大学総合研究所紀要〈別冊 教育実践を重視した教師教育カリキュラムの日米比較研究〉  
 仏教大学総合研究所編（同会・平成15年3月）
- 85 仏教大学総合研究所紀要〈別冊 現代医療の諸問題〉  
 仏教大学総合研究所編（同会・平成15年3月）
- 86 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書〈第30冊〉  
 仏教美術研究上野記念財団助成研究会編（同会・平成15年3月）
- 87 仏教文化論集〈第9輯〉  
 川崎大師教学研究所編（川崎大師平間寺・平成15年12月）
- 88 平和と宗教〈第22号〉

- 庭野平和財団平和研究会編(同財団・平成15年12月)
- 90 北米シンポジウム(2001)カリフォルニア (Historiography and Japanese Consciousness of Values and Norms) 英文  
国際日本文化研究センター編(同センター・平成15年1月)
- 91 北陸宗教文化(第15号)  
金沢大学文学部比較文化化学研究室内北陸宗教文化学会  
(同学会・平成15年3月)
- 92 密教学研究(第35号)  
日本密教学会編(同学会・平成15年3月)
- 93 身延山大学仏教学部紀要(第3号)  
身延山大学仏教学部編(同大学同学部・平成14年10月)
- 94 民具マンスリー(第35巻12号、第36巻1〜11号)  
神奈川大学日本常民文化研究所編  
(同研究所・平成15年3月〜16年2月)
- 95 龍谷史壇(第119、120合併号)  
龍谷大学史学会編(同学会・平成15年3月)
- 96 倫理研究所紀要(創刊号〜第5号、7号〜10号、12号)  
倫理研究所編(同研究所・平成3年7月〜15年4月)
- 97 歴史と民俗(19)  
神奈川大学日本常民文化研究所編(同研究所・平成15年3月)

平成十六年 密教文化研究所だより

専従研究所員藤田光寛先生は平成十六年度四月より、高野山大学文学

部長に選出された越智淳仁教授の後任として学生部長に就任された。これにより、任期半ばであるが専従所員を退き、兼任所員として研究所の事業に御参画いただくことになった。専従所員の後任は密教学科奥山直司教授で、任期は平成十六年四月一日から二年間である。

定例の合同研究会(テーマ「弘法大師の思想とその展開」および「密教の形成と流伝」)は、生井所長のもと、中村本然・奥山直司両専従所員、藤田光寛・武内孝善・乾仁志各所員、学外研究者として岩崎日出男、森雅秀、大塚伸夫、トーマス・ドライトライン四氏にも委託研究員として御参加いただいている。

平成16年6月28日(月) 岩崎日出男「杜鴻漸撰述『金剛智三藏和尚記』の逸文について」

7月8日(木) 藤吉圭二(文学部助教)「博物館等におけるウェブ上での資料公開の現状と課題」

9月27日(月) 森 雅秀「バンングラデシュ国立博物館所蔵の密教美術」

10月28日(木) 大塚伸夫「『出生無辺門陀羅尼經』に見る最新初期密教の実態」

11月11日(木) 中村本然「道範記『菩提心論談義記』について」

12月14日(火) 日韓国際学術交流大会

平成17年2月8日(火) 北川真寛・土居夏樹(受託研究員)

「真言・天台における論義について」

3月3日(木) 奥山直司「青海省同仁県ゴムル寺のチャム」

武内孝善「空海の誕生地をめぐって」

月例研究会の他、個別の研究会として、ドライトライン研究員が「弘法大師の著作を読む会」を不定期ながら開催している。これは『即身成仏義』の現代語訳を進めながら、最終的には英語訳を目指すもの。本学教員や大学院生が参加し、来年度中にその成果を発表できる見込みである。今年度は平成十七年二月までに十八回を重ねた。開催日は次のとおり。

- ①五月十九日(水)・②同二十五日(火)・③六月二日(水)・④同十六日(水)・⑤八月四日(水)・⑥同十八日(水)・⑦同二十五日(水)・⑧九月八日(水)・⑨同二十二日(水)・⑩十月七日(木)・⑪同十四日(木)・⑫同二十一日(木)・⑬同二十七日(水)・⑭十一月十七日(水)・⑮同二十三日(火)・⑯十二月九日(木)・⑰同二十三日(木)・⑱二月十七日(木)。

平成十六年九月七日(火)、東京基督教大学共立基督教研究所「キリスト教と日本文化」研究会(座長櫻井圀郎同大学教授)主催の第二十七回「日本の文化」ツアー―弘法大師空海と高野山―に密教文化研究所が協力した集会が開かれた。午前十時三十分から約一時間、生井所長による「真言密教の生命観と曼荼羅の文化、そしてキリスト者との対話」と題する講義終了後、研究会参加者三十名の他、藤田・中村・奥山所員や本学大学院生等を交えて所感の交換があった。本来は質疑応答が行なわれる予定であったが、折りしも接近中の台風を警戒して、正午過ぎに切り上げられた。キリスト教信仰者の発言には、立脚基盤の異なりからか、我々仏教徒には肯首できない意見もみられたが、逆に対比によって仏教・

密教の特色に気付かされることも少なくない。この研究会では、前日から高野山の各所見学、宿坊での朝勤参加、阿字観実修を行ない、参加者には概ね好評で、平成十七年度にも第二回が予定されている。

同年十二月十四日(火)には、密教文化研究所と韓国の大韓仏教真覚宗教育院との共催により、高野山大学本館第三会議室を会場として、日・韓国国際学術交流大会が開催された。韓国側からは真覚宗宗団関係者・信徒・通訳等三十二名が参加した。当日は午前十時より、本学藤田光寛教授を司会に、「密教行法中の金剛界三十七尊」を主要テーマとして、日韓双方から貴重講演・研究発表が行なわれた。講演者・発表者は次のとおり。

○代表挨拶

高野山大学密教文化研究所長 生井智紹教授

大韓仏教真覚宗統理院長 孝庵正師

○基調講演

「韓国密教と金剛界三十七尊」大韓仏教真覚宗教育院長 惠浄正師

「日本密教と金剛界三十七尊」高野山大学文学部長 越智淳仁教授

○研究発表

「真覚宗教学における金剛界三十七尊」真覚宗教法部長 智正正師

「韓国の六字真言信仰と金剛界三十七尊の習合」

真覚大学 許一範教授

「真言密教における金剛界三十七尊信仰の展開」

高野山大学 中村本然教授

「金剛界念誦次第における三十七尊の役割」

高野山大学 乾仁志教授

## 「瑜伽部密教の曼荼羅と金剛界三十七尊」

高野山大学 川崎一洋助手

平成十六年度は密教文化研究所受託研究員として十一名、河廷龍（韓国）、ステイーブン・トレンソン（ベルギー）、京都大学大学院博士後期課程）、パーケルマンス・ペテロ（ベルギー）、南山大学大学院博士後期課程）、パオラ・ディ・フェリーチェ（イタリア）、静春樹・北川真寛・土居夏樹・高岡隆真（高野山大学大学院博士後期課程単位取得退学）、菊谷竜太（東北大学大学院博士後期課程）、小池満秀（東京大学大学院総合文化研究科博士課程退学）、加納和雄（京都大学大学院博士後期課程）、李新正（中国）各氏を、それぞれ平成十六年四月一日から同十七年三月三十一日まで受け入れている。

高野山大学では密教文化研究所初代所長中野義照博士の業績を顕彰するため、中野博士の著作物売上金と御親族の寄附金を基金とし、平成十二年から「中野義照博士奨学金規程」を設けている。平成十六年度は七月八日研究所協議会において選考の結果、昨年度に引続き受託研究員加納和雄氏が奨励研究員として採用された。研究テーマは「宝性論の研究」である。

平成十四年度から継続事業として開始された高野山親王院所蔵聖教・古文書調査は、今年十二月時点で上蔵の聖教約二百二十箱が調査済みで、鎌倉から江戸初期頃の写本や古文書のべ四百四十八点、約一万六千二百コマを撮影している。調査は今年度でひとまず終了し、平成十七年度は調査データの整理と所在不明分の追加調査を実施する見込みである。

二〇〇四年五月二十七日（現地時間）、ベルギー国立ゲント大学東洋文化学科日本学教授ポール・バンデンブルック先生が胆石癌のため逝去された。先生は一九八九年と九三年に国際交流基金留学生として来日、合計七ヶ月間、松長有慶教授指導のもと「瑜祇経の研究」をテーマに、高野山大学密教文化研究所で研究と資料収集にいそまされた。その成果の一部が『密教文化研究所紀要』第七号（平成六、一九九四）に掲載された。『On the Title and the Translator of Yūgi-kyō (T. XIII no. 867)』である。来日中には松長有慶師の徒弟として得度し、法名「剛峯」を授けられている。帰国後は欧米への真言密教や日本文化の紹介に尽力され、国際交流の橋渡しにも努められた。ヨーロッパでは稀な真言密教の研究者として替え難い貴重な人材であったから、四十七歳という若すぎる年齢と共にその急逝が惜しまれる。

密教文化研究所構成員名簿 (平成十六年十二月現在)

所長

専従研究所員

〃

兼任研究所員

〃

〃

委託研究員

〃

〃

〃

生井 智紹 (文学部教授)

中村 本然 (文学部教授)

奥山 直司 (文学部教授)

武内 孝善 (文学部教授)

藤田 光寛 (文学部教授)

乾 仁志 (文学部教授)

岩崎日出男 (園田学園女子大学助教授)

森 雅秀 (金沢大学文学部助教授)

大塚 伸夫 (大正大学講師)

トーマス・ドライトライン (高野山大学講師)

松長 有慶 (名誉教授)

甲田 博史

甲田 博史

川崎 一洋

塩崎まどか (非常勤)

顧問

研究所事務室長

専門員

【教職員人事】

○退任 平成十六年三月三十一日付

藤田 光寛 専従研究所員

武内 孝善 専従研究所員

奥山 直司 兼任研究所員

前谷 彰 兼任研究所員

岩崎日出男 委託研究員

森 雅秀 委託研究員

大塚 伸夫 委託研究員

トーマス・ドライトライン 委託研究員

○就任 平成十六年四月一日付

奥山 直司 専従研究所員

武内 孝善 兼任研究所員

藤田 光寛 兼任研究所員

乾 仁志 兼任研究所員

岩崎日出男 委託研究員

森 雅秀 委託研究員

大塚 伸夫 委託研究員

トーマス・ドライトライン 委託研究員

## 高野山大学密教文化研究所規程

## (総則)

第一条 この規程は、高野山大学(以下「本学」という。)学則第三

九条に基づき、密教文化研究所(以下「研究所」という。)の目的及び組織等に必要事項を定めるものである。

## (目的)

第二条 この研究所は、真言密教の濫奥を究め、これを顕揚すると共に社会に貢献するを以って目的とする。

## (事業)

第三条 前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- ① 弘法大師の著作研究
- ② 真言密教の研究並びに調査
- ③ 密教文化に関する共同研究
- ④ 国内外の研究機関並びに研究者との学术交流
- ⑤ 研究資料の収集及び整理並びに提供
- ⑥ 研究成果の刊行並びに公表
- ⑦ 研究会及び講演会の開催
- ⑧ 密教に関する情報サービス
- ⑨ その他の必要な事業

## (研究組織)

第四条 研究所に次の研究部門を置く。

- ① 基礎研究部門
- ② 総合研究部門

## (職員組織)

第五条 研究所に次の職員を置く。

- 2 基礎研究部門においては、日本及びアジア地域における密教の基礎的研究並びに基礎資料の調査研究を行う。
- 3 総合研究部門においては、密教の思想と研究並びに関連領域について総合的な比較研究を行う。

① 研究所長

② 研究所長

③ 研究員

④ 第九条に規定する事務職員 若干名

## (研究所長)

第六条 研究所長は、本学専任の教授の中から学長が推薦し、理事長が任命する。

2 研究所長の任期は三年とし、再任を妨げない。

3 研究所長は、学長の下に研究所に関する事項を掌理する。

## (研究所員)

第七条 研究所員は、本学専任の教育職員の中から、研究所長が文学部長と協議の上推薦し、学長が教授会の議を経て委嘱する。

2 研究所員を専従研究所員及び兼任研究所員とする。

3 専従研究所員は、主として研究所の研究及び事業に従事する。

4 専従研究所員の任期は二年とし、再任を妨げない。

5 専従研究所員の担当する授業時間数については、文学部長又は文学研究科長が研究所長と協議の上、学長がこれを定める。

6 兼任研究所員は、本務に兼ねて研究所の特定課題の研究又は事業に従事する。

7 兼任研究所員の任期は一年とし、再任を妨げない。

(研究員)

第八条 研究員を専任研究員、委託研究員及び受託研究員とする。

2 専任研究員は、学長が研究所長と合議の上、教授会の議を経て任用する。

3 専任研究員の任期は一年とし、本学が必要と認める場合には、再契約をすることがある。

4 専任研究員は、研究所員の指導の下に研究及び事業に従事する。

5 委託研究員は、研究所長が推薦し、学長が委嘱し、教授会に報告する。

6 委託研究員の委託期間は一年とし、本学が必要と認める場合には、再委嘱することがある。

7 委託研究員は、研究課題に基づいて研究を行う。

8 委託研究員の受け入れについては、学長が研究所長と合議の上決定し、教授会に報告する。

(事務組織)

第九条 研究所の事務は、研究所事務室がつかさどる。

2 研究所事務室に事務室長、専門員及びその他の専務職員を置く。

3 専務職員は、研究所の事務又は事業に従事する。

4 専門員は、研究所長及び研究所事務室長の下に研究所の事業に関する特殊な専門的知識、経験等を必要とする分

野の業務を直接処理する。

(運営)

第一〇条 研究所の運営を協議するために研究所に協議会置く。

2 研究所協議会に関する事項は、別に定める。

(顧問及び賛助員)

第一一条 研究所に顧問及び賛助員を置くことができる。

2 顧問及び賛助員は、研究所協議会の議を経て学長が委嘱する。

(学則の準用)

第二一条 この規程に定めるもののほか、研究所の運営に関して必要な事項は、本学の学則及びその他の本学の諸規程を準用する。

(規定の改廃)

第一三条 この規程の改廃は、学長が研究所長とはかり教授会の議を経て、理事会の承認を得るものとする。

附則

一 この規程は昭和三十三年四月一日より施行する。

一 この規程は昭和五十一年四月一日より施行する。

一 この規程は昭和五十九年四月一日より施行する。

一 この規程は平成二年二月一六日より施行する。

一 この規程は平成三年二月十八日より施行する。

一 この規程は平成三年四月一日より施行する。

一 この規程は平成五年四月一日より施行する。

一 この規程は平成七年五月一日施行し、平成七年四月一日より適用する。

一 この規程は平成八年四月一七日施行し、平成八年四月一日より

適用する。

この規程は平成一四年二月二日より施行する。

### 『密教文化研究所紀要』編集委員会規程

第1条 密教文化研究所（以下「研究所」という。）に、『密教文化研究所紀要』（以下「紀要」という。）編集委員会（以下「編集委員会」という。）を設ける。

第2条 編集委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 研究所長
- (2) 専従研究所員
- (3) 「紀要」編集担当者

2 編集委員長は研究所長がこれにあたる。研究所事務室長は、幹事として編集委員会の事務を処理する。

第3条 編集委員会研究所長が招集し、その議長となる。議長に事故あるときは、互選によって議長を選出する。

第4条 編集委員会は、次の事項を審議し、研究所協議会に報告する。

- (1) 「紀要」に寄稿された原稿の掲載の可否および掲載の時期の決定。

(2) 「紀要」寄稿者への補筆および補正の要請。

第5条 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。

第6条 この規程の改廃は、研究所協議課員の議を経て、研究所長が決定する。

### 附 則

- 1 この規程は、平成九年四月一日から施行する。
- 1 この規程は、平成一四年五月二日から施行する。



## 『密教文化研究所紀要』寄稿規程

- 第1条 『密教文化研究所紀要』（以下「紀要」という。）は、日本およびアジア地域などにおける密教の思想と文化に関する研究論文、研究ノート、研究資料、書評などを掲載発表することにより、密教文化の研究の発展に寄与することを目的とする。
- 第2条 「紀要」に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
- (1) 研究所長
  - (2) 研究所員
  - (3) 研究員
  - (4) 編集委員会が適当と認める者
- 第3条 原稿は、原則として四百字詰原稿用紙七十枚以内とする。
- 第4条 原稿は完全原稿とする。執筆者校正は再稿までとし、校正時の大幅な改変・追加等は認めない。
- 第5条 寄稿された原稿は、査読委員会の査読を経て、編集委員会が掲載の可否および掲載の時期を決定する。また、編集委員会が、寄稿者に補筆および修正を求めることができる。
- 第6条 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
- 第7条 寄稿者には、掲載誌二部および抜刷三十部を贈呈し、その経費は研究所が負担する。

## 附則

- 1 この規程は、平成九年四月一日から施行する。

## 『密教文化研究所紀要』査読委員会規程

- (設置)
- 第1条 密教文化研究所（以下「研究所」という。）に、『密教文化研究所紀要』査読委員会（以下「査読委員会」という。）を設置する。
- (目的)
- 第2条 査読委員会は、寄稿論文原稿を査読し、紀要の学術的価値の向上を計ることを目的とする。
- (構成)
- 第3条 査読委員会は、研究所長を委員長とし、研究所員若干名の委員をもって構成する。
- 2 委員長は、寄稿論文のテーマにしたがって、研究所員以外から委員を委嘱することができる。
- (任務)
- 第4条 委員は、寄稿された論文原稿について査読し、その学術的評価を判断して、その結果を委員会に報告する。
- 2 委員長は、各委員からの報告を受けて査読委員会を開き、論文掲載の可否を審議し、編集委員会に報告する。
- (任期)
- 第5条 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。
- (改廃)
- 第6条 この規程の改廃は、研究所協議会の議を経て、研究所長が決定する。

附  
則

1 この規程は平成九年四月一日から施行する。

---

## 執筆者紹介(掲載順)

中村 本然 密教文化研究所専従研究員

(文学部教授)

武内 孝善 密教文化研究所兼任研究員

(文学部教授)

森 雅秀 密教文化研究所委託研究員

(金沢大学文学部助教)

静 春樹 密教文化研究所委託研究員

(高野山大学大学院博士後期課程退学)

ペテロ・バーケルマン

密教文化研究所受託研究員

(南山大学大学院文学研究科博士課程)

## 編集後記

『密教文化研究所紀要』第十八号をお届けいたします。今号には中村本然、武内孝善、森雅秀、静春樹、P・バーケルマン、ス各先生の論文を掲載いたしました。

彙報にも報告がありますが、かつて短期間とは云え密教文化研究所に在籍し、研究活動に励まれたベルギーのポール・ヴァンデンブルック教授が急逝されました。当研究所や高野山大学のみならず、高野山とヨーロッパをつなぐ橋渡しの役割を担っておられ、更なる御活躍が期待されていただけに、享年四十七歳という早世は惜しまれてなりません。頑丈そうな体格とは相違して、物静かで謙虚な人柄がなつかしく思い出されます。御冥福をお祈りいたします。

(甲田記)

高野山大学密教文化研究所紀要 第十八号

平成十七年二月二十一日 印刷

平成十七年二月二十五日 発行

編集者 密教文化研究所

代表者 生 井 智 紹

発行所 密教文化研究所

和歌山県伊都郡高野山高野山大学

電話 (0735) 551-3500 ㊟ 06-8101-20

印刷所 第一印刷出版株式会社

大阪市福島区福島七-13-11

電話 (06) 6551-6716 ㊟ 053-0003